

# クリーンセンター大崎 環境分析結果 (令和6年度)

## (1) 目的

クリーンセンター大崎では、安全で安定的なごみの処理や周辺環境への影響及び公害防止設備の健全性を確認するために環境分析を実施しています。

## (2) 環境分析

環境分析は、施設から周辺環境へ排出される『排出ガス』、『排出水』、『燃え殻・ばいじん』、『悪臭』について詳細分析を行っています。

## (3) 結果

令和6年度の環境分析の結果は、『クリーンセンター大崎環境分析結果表』のとおりです。

『排出ガス』、『排出水』、『燃え殻・ばいじん』、『悪臭』の全ての結果において規制値及び参考値を下回りました。

今後も安全で安心な運転管理につとめます。

## 【用語】

### ○m<sup>3</sup>N

標準状態（0℃，1気圧）に換算した気体の体積

### ○g/m<sup>3</sup>N、mg/m<sup>3</sup>N

標準状態（0℃，1気圧）に換算した気体の体積中に含まれた対象物の重さ

### ○ppm

成分比や濃度を表す単位で100万分の1

### ○ng、pg

1ng(ナノグラム)は10億分の1g。1pg(ピコグラム)は1兆分の1g。

### ○TEQ

ダイオキシン類の量を最も毒性が強いダイオキシン類の毒性量に換算した数値

### ○ばいじん

燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

### ○固化灰

灰を減容、セメント固化、もしくは薬剤処理等にて無害化したもの

### ○臭気指数

臭いを人の鼻によって評価した数値

# クリーンセンター大崎 環境分析結果表(令和6年度)

## 【排出ガス①】

項目		測定年月日	R6. 8. 8	R6. 9. 10	R6. 10. 3	R6. 12. 5	R7. 3. 7	規制値
1号炉 (煙突)	硫黄酸化物 (m <sup>3</sup> N/h)		0.46	0.38	0.36	0.27	0.18	81.1
	ばいじん (g/m <sup>3</sup> N)		<0.00062	<0.00066	<0.00076	<0.00071	<0.00066	0.08
	塩化水素 (mg/m <sup>3</sup> N)		23	29	25	23	11	200
	窒素酸化物 (ppm)		73	66	73	69	77	180

項目		測定年月日	R6. 4. 24	R6. 5. 9	R7. 7. 8			規制値
2号炉 (煙突)	硫黄酸化物 (m <sup>3</sup> N/h)		0.44	0.43	0.13			85.1
	ばいじん (g/m <sup>3</sup> N)		<0.00067	<0.00066	<0.00075			0.08
	塩化水素 (mg/m <sup>3</sup> N)		20	17	15			200
	窒素酸化物 (ppm)		81	76	63			180

項目		測定年月日	R6. 4. 25	R6. 6. 6	R6. 7. 9	R6. 8. 9	R6. 9. 9	R7. 3. 6	規制値
3号炉 (煙突)	硫黄酸化物 (m <sup>3</sup> N/h)		0.46	0.3	0.28	0.20	0.23	0.32	81.4
	ばいじん (g/m <sup>3</sup> N)		<0.00069	<0.00067	<0.00068	<0.00068	<0.00060	<0.00061	0.08
	塩化水素 (mg/m <sup>3</sup> N)		39	20	39	27	24	21	200
	窒素酸化物 (ppm)		76	66	64	66	77	76	180

※2号炉はR6. 7月下旬からR7. 2月中旬まで基幹改良工事実施

## 【排出ガス②】

項目		測定年月日	R6. 7. 10	R6. 8. 9		規制値
1号炉煙突	ダイオキシン類 (ng-TEQ/m <sup>3</sup> N)			0		1
2号炉煙突			0			
3号炉煙突			0			

## 【排水①】

項目		測定年月日	R6. 4. 16	R6. 5. 20	R6. 6. 11	R6. 7. 9	R6. 8. 6	R6. 9. 10	規制値
放流水	水素イオン濃度		7.6	7.6	7.7	7.6	7.2	7.7	5.8~8.6
	生物化学的酸素要求量 (mg/L)		0.9	0.5	1.1	1.9	1.1	1.5	25
	化学的酸素要求量 (mg/L)		6.9	5	6.9	7.2	6.6	6.9	—
	浮遊物質量 (mg/L)		5	3	3	10	4	7	60
	大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )		<30	<30	<30	<30	<30	<30	3000

項目		測定年月日	R6. 10. 8	R6. 11. 12	R6. 12. 10	R7. 1. 14	R7. 2. 19	R7. 3. 11	規制値
放流水	水素イオン濃度		7.2	7.7	7.3	7.4	7.8	7.8	5.8~8.6
	生物化学的酸素要求量 (mg/L)		1.7	1.6	1.4	2.1	3.5	<0.5	25
	化学的酸素要求量 (mg/L)		4.1	7.4	6.1	10.7	8.8	6.4	—
	浮遊物質量 (mg/L)		<2	8	<2	11	14	<2	60
	大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )		<30	<30	<30	<30	<30	<30	3000

## 【排水②】

項目		測定年月日	R6. 5. 20	R6. 7. 10	R6. 8. 6	R6. 11. 12	R7. 2. 19	規制値
放流水	カドミウム及びその化合物 (mg/L)		<0.003		<0.003	<0.003	<0.003	0.03
	鉛及びその化合物 (mg/L)		<0.01		<0.01	<0.01	<0.01	0.1
	シアン化合物 (mg/L)		<0.1		<0.1	<0.1	<0.1	1
	アルキル水銀化合物 (mg/L)		<0.0005		<0.0005	<0.0005	<0.0005	不検出
	総水銀 (mg/L)		<0.0005		<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005
	ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)			0.000087				10

## クリーンセンター大崎 環境分析結果表(令和6年度)

### 【燃え殻・ばいじん①】

項目		測定年月日	R6. 5. 7	R6. 8. 6	R6. 11. 12	R7. 2. 19	参考値
焼却灰 (溶出試験)	カドミウム又はその化合物 (mg/L)		<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.3
	鉛又はその化合物 (mg/L)		2.4	3.5	5.6	7	0.3
	六価クロム化合物 (mg/L)		0.14	<0.05	<0.05	<0.05	1.5
	アルキル水銀化合物 (mg/L)		<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	不検出
	水銀又はその化合物 (mg/L)		<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0012	0.005
	砒素又はその化合物 (mg/L)		<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.3
	セレン又はその化合物 (mg/L)		0.02	<0.01	0.01	0.01	0.3

※焼却灰には判定基準値が無いため、固化灰の判定基準値を参考値として記載しております。

### 【燃え殻・ばいじん②】

項目		測定年月日	R6. 7. 10	R6. 8. 7		規制値
1号炉焼却灰				0.0022		3
2号炉焼却灰	ダイオキシン類 (ng-TEQ/g)	0.0051				
3号炉焼却灰		0.0023				

### 【燃え殻・ばいじん③】

項目		測定年月日	R6. 5. 7	R6. 7. 10	R6. 8. 6	R6. 11. 12	R7. 2. 19	判定基準値
固化灰	溶出試験	カドミウム又はその化合物 (mg/L)	<0.01		<0.01	<0.01	<0.01	0.3
		鉛又はその化合物 (mg/L)	<0.01		<0.01	<0.01	<0.01	0.3
		六価クロム化合物 (mg/L)	0.08		<0.05	<0.15	<0.15	1.5
		アルキル水銀化合物 (mg/L)	<0.0005		<0.0005	<0.0005	<0.0005	不検出
		水銀又はその化合物 (mg/L)	<0.0005		0.0006	<0.0005	<0.0005	0.005
		砒素又はその化合物 (mg/L)	<0.01		<0.01	<0.01	<0.01	0.3
		セレン又はその化合物 (mg/L)	<0.01		<0.01	0.01	<0.01	0.3
	ダイオキシン類 (ng-TEQ/g)		0.10				3	

### 【悪臭】

項目		測定年月日	R6. 9. 10	規制値
敷地境界線上 空気	臭気指数		10未満	10